

花卉



灰色カビ病について



花卉

吉澤 清
下島農業指導センター
080-1774-5386

・発生の特徴

灰色カビ病は寄生範囲が広く、ほとんどの植物で発生します。低温多湿を好むので秋から冬の初め頃にかけて気温がやや低く、湿度の高い、雨が多くて日照が不足しがちな時期に発生が多くなります。発病適温は15℃～20℃で結露時間が長くなると多発し、植物体表面やその付近が結露しやすい環境下で発生します。

・被害状況

花、茎、葉が溶けるように腐り、さらに病気が進行すると灰色のカビに覆われ、同時に灰色がかった粉（胞子）を多量に形成します。花では始め、花卉に水滴がにじんだ様な跡がつき、白い花では赤い斑点、色のついた花では白い斑点が多数生じます。病気が進行すると花が褐色になり腐ってきて、やがて灰色のカビに覆われます。

・除去方法

灰色カビ病は湿度を好むので水のやりすぎに注意し、なるべく晴天時に行いましょう。そしてハウス内は風通しをよくして十分な換気をしましょう。枯れた部分にも病原菌が残っているので取り除きましょう。病原菌は害虫の食害跡やしおれた花卉、チッソ過多により軟弱に育った植物組織から侵入するので、害虫を防除したり、肥培管理を適切にすることも予防できます。殺菌剤ではフルピカフロアブル、ボトキラー水和剤、エムダイファー水和剤、ポリオキシシンAL水和剤等が花き類での登録があり、なるべく同じ剤は使わないようローテーションでの散布を1週間～10日おきに散布し予防しましょう。

※農薬散布に際して薬害等のおそれがありますので、事前に営農センターへお問い合わせ下さい。



トルコギキョウ被害



スターチス被害



金魚草被害

果樹



1月の柑橘園管理



果樹

鶴浜 研二
上島農業指導センター
080-1771-4257

本年産については、夏場の乾燥、早期の着色により果皮障害が出やすい状況となっています。収穫、選別を丁寧に、貯蔵期間の腐敗、コハン症等注意しましょう。

1. 各品目別の収穫時期について

品種	区分	収穫基準日
露地デコポン	レギュラー	1/1より
	こだわり後期	1/20より ※簡易被覆のみ
天草文旦	完熟園	1/20より
甘夏	レギュラー	1/1より

2. 中晩柑の収穫と予措・貯蔵

腐敗果防止の為、収穫時は果実にキズをつけないよう丁寧に扱い、下の表を参考に予措を行って下さい。また、デコポンについてはポリ個装が遅れるとコハン症等が発生しやすい為、収穫時の天候状況に合わせた予措を行い、ポリ個装に入りましょう。

品種名	予措期間（減量割合）	予措湿度
デコポン	14日（3%程度）	85～90%
ポンカン	30日（7%程度）	85～90%
甘夏	14日（3%程度）	90%

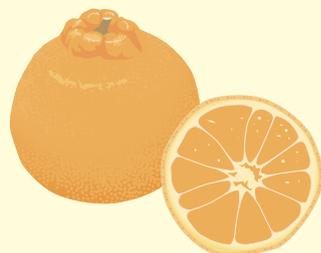
3. 樹勢回復対策

収穫が終わった園では速やかにチッソ主体の葉面散布を行い、樹勢回復を行って下さい。

薬剤名	希釈倍数	備考
尿素 又は アミノジューシーN14 又は 神協スピリッツ	500倍	収穫後3回以上集中散布を行いましょう。

4. 出荷資材の取扱いについて

JAで取り扱う柄入りポリ袋（Pプラス袋含む）、越冬完熟袋については、こだわり商材袋の為JA出荷以外は使えません。直売所等で販売する場合は、無地の袋を使用して下さい。



野菜



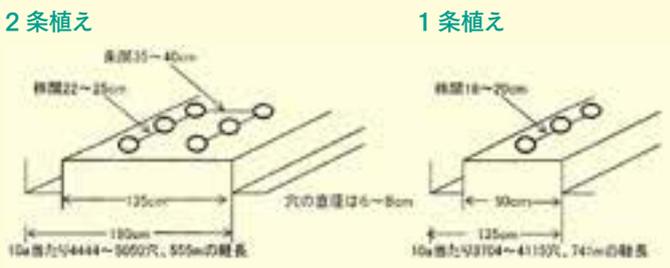
オクラ栽培について



野菜
山下 伸一
下島営農指導センター
080-1729-1630

月	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11																	
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下															
作型	●																																															
主要作業							播種			トンネル除去			摘葉			収穫始め及び追肥開始																																

作業項目	
播種準備	<ul style="list-style-type: none"> ●元肥は全面施用する。元肥の施用が多すぎると、初期生育が旺盛となり花止まりが悪くなるので、肥料の種類、前作の残量、施肥時期に注意する。(特に前作が野菜の場合は施用を控える) ●レタス栽培跡地は原則無肥料とする。 ●管理、収穫作業を便利にするため、通路はなるべく広く取るようにする。 ●水分条件の良い時、施肥、畦立てしマルチまで行う(早ければタバコのように年内でも可、また早蒔きはグリーンマルチも効果大) ●畦立てはなるべく高畦とする。(25cm程度) ●播種前、10日以上トンネルをして地温を高めておく。
播種	<ul style="list-style-type: none"> ●播種時期 3月中旬～4月下旬直播又は、移植する。 ●オクラの播種は硬実種子のため1昼夜ぬるま湯に浸漬してから播種する。 ●播種要領は1穴当たり5粒蒔きとし(10a2ℓ)指先で軽く鎮押し、無病の土(育苗床土等)で被覆する。その際、深さに注意する。(注意:播種時の過湿・地温不足は種子が腐敗しやすい。) ●無理な早蒔きは、地温が低いので発芽揃いが悪く苗立枯れ病発生の原因となる。 ●欠株対策として、補植苗を準備しておく。(10a当たり 500本程度)
温度管理	●日中30℃を超えないよう換気に努める。
苗立枯れ病	●生育初期に発生が多いので低温、多湿を避けるように予防対策を徹底する。
トンネル除去	●5月上～中旬頃外気温が15℃を保つ時期の風の無い温暖な時にトンネル除去を行う。



品名	規格	2条植え	1条植え
マルチ	150幅	3本	
マルチ	135幅		4本
種子	1% 10000粒目安	2.2%	2.0%
トンネル支柱			
トンネルビール			

詳しいことは地区の担当者又は、栽培講習会等でお聞きください。

研修生が天草拓心高校で講話

12月10日、P7でご紹介した農業研修生のひとり、原田孝平さんが「Uターン農業」という題目で天草拓心高校の生徒さんを対象に講話をされました。講話では、学生時代から現在に至るまで自身が経験し感じてきたことや、現在JAの農業研修生として活動していること、これからやりたいことなどを説明。「農業をしようと考えている人は、ぜひJAの研修ハウスのような環境で研修を受けることをおすすめします」と力説してくれました。

原田さん、お疲れ様でした。そしてありがとうございました。



農機センターからお知らせ

使わなくなった農業機械を引取希望者へ紹介いたします!

もう使わなくなった農業機械が倉庫に眠っていませんか?
「だれか必要な人がいれば譲りたい」という方の農業機械を広報誌などに掲載し、引取希望者への紹介をいたします。掲載・紹介にかかる手数料は無料です!各農機センターへお気軽にご相談ください。

- 大矢野農機センター : 080-2735-0029
- 上島農機センター : 0969-53-1139
- 下島農機センター : 0969-78-4980



※農業機械の点検修理・運搬などが必要な場合などもお気軽にご相談ください。(別途手数料が発生いたします。)